



東 侯 野 12月号

東侯野小学校 学校だより 令和5年11月30日

“人権週間”

学校長 幸保 陽子

日に日に寒さが増し、冬の到来を感じる頃となりました。

先日、東侯野中央公園でたてわりウォークラリーが実施されました。晴天に恵まれ4年ぶりに、全校児童が活動を楽しむことが出来ました。たてわりウォークラリーでは、高学年が中心となり、下級生を気遣いながら活動をリードしていました。優しく声をかけたり、下級生にペースを合わせたりして、みんなが楽しめるようにと考えて行動することができました。下級生も上級生の言うことをきいて行動し、どの班も活動が盛り上がり、楽しかったようです。

しかし、振り返ってみると、うまくいくことばかりではなかったようです。活動が進むにつれて、班行動ではなく個人で自由に行動する子がでてきたり、6年生が考えたレクをやりたくないという子がいたりしました。そのようなとき、5・6年生が協力しながら下級生の思いを聞いて一緒に解決策を考えていました。計画通りにはいかないことがあるけれど、臨機応変に対応することや、下級生の話を聞いて丁寧に接するとよいことなどに気づき、下級生が喜んだり楽しんだりしていることが、自分の喜びにつながっていたようでした。

さて、本校では11月27日から12月1日までが人権週間です。たてわりウォークラリーを経験したひがまたっ子だからこそ、この人権週間で「ひとり」を大切にすることについて、より考えを深められるのではないかと考えています。「誰もが安心して豊かに」生活できる学校を目指し、人とのつながりから自分も他の人も大切にできる子どもの育成を図っていきます。人権週間では一人ひとりの違いを認めたり、自分や友達の良いところを見つけたりして、それぞれが大切な存在であることを知る機会にしていきたいと思います。

低学年では「ふわふわ言葉とちくちく言葉」、中学年では「わたしていいな ほめほめ大作戦」、高学年では「欠点も見方を変えればよいところ」について考えます。様々な場面で「こんな時はどうする？」と自分で深く考えて行動し、人権意識を高めてほしいと思います。そして、私たち教職員もまた、子どもたちにしっかりと寄り添えるよう心がけていきたいと思います。

今年も残りわずかとなりました。今年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、制限が緩和された中で教育活動を行うことが出来ました。保護者の皆様や地域の方々には、様々な面でご協力頂き感謝申し上げます。子どもたちは、たくさんの方々から温かく見守られ、関わり合いながら成長できたと感じております。来年もまた本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますよう、引き続きよろしくお願いたします。